



スタートアップの 資金調達と資金繰りの基本

②スタートアップの資金繰り

中小企業活力向上オンラインセミナー
財務管理分野

中小企業活力向上プロジェクトアドバンス実行委員会事務局



中小企業の資金調達手法

➤ メリット、デメリット、使う時期も異なる

1 資金調達手段一覧

出所
「開業ガイドブック2023年度版」
東京商工会議所P.30～36

	調達手段		金額イメージ	主な実施フェーズ	解説	メリット	デメリット	利用における留意点
1	自己資金	返済不要	数万円～数百万円	いつでも	個人の貯蓄などの資産を使って資金を調達する	・債務を負わない ・調達コストなし	・資金量が限られる ・失敗した場合、個人の資産を直接的に損なう	投入できる自己資金の範囲に注意する
2	親族・友人	株式・	数万円～	いつでも	身近な関係ある	・利息なしで調達で	・人間関係悪化の可	個人間の関係
			なる		受ける	可能性を高める	・制度による利用条件がある	に注意
6	エンジェル投資家	株式	数百万円～数千万円	創業時からベンチャーキャピタルからの出資を受けられるまで	個人・法人の投資家から資金を調達する	・豊富な経験に基づく助言など事業の成長支援が得られる ・迅速な調達が可能	・投資家・案件により、金額や関与度合いに幅がある ・利益配当を要求する投資家もいる	・投資家との相性が重要。選定や交渉に時間をかける必要あり
7	ベンチャーキャピタル(VC)	株式	数千万円～数億円	ビジネスモデルや事業計画を示すことができる状況	投資を専門とするファンドや投資会社から投資を受ける	・大規模な資金調達も可能 ・豊富な経験に基づく助言など事業の成長支援が得られる	・ネットワークを拡げられる ・IPOやM&Aなどの出口戦略への強い要求 ・経営者の株主比率の希薄化	・キャピタリストとビジョンや経営目標について共有が必要

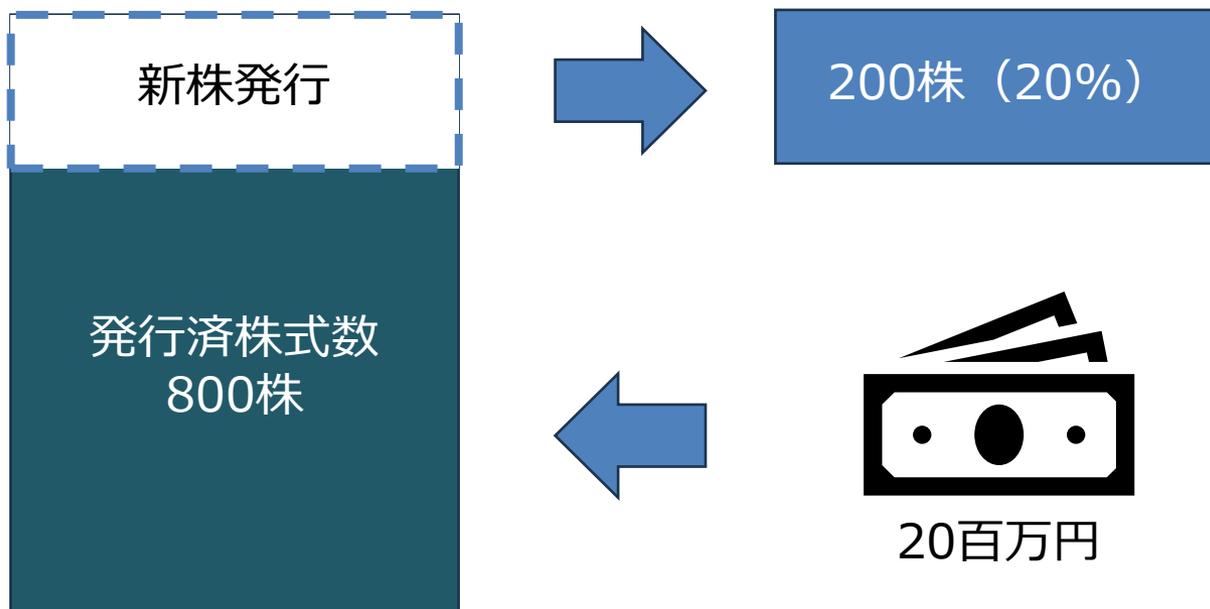


エクイティファイナンスとは

- ▶ 株式発行により外部の投資家から資金調達すること

エクイティ : equity = 株主資本

ファイナンス : finance = 財務





エクイティとデットの比較

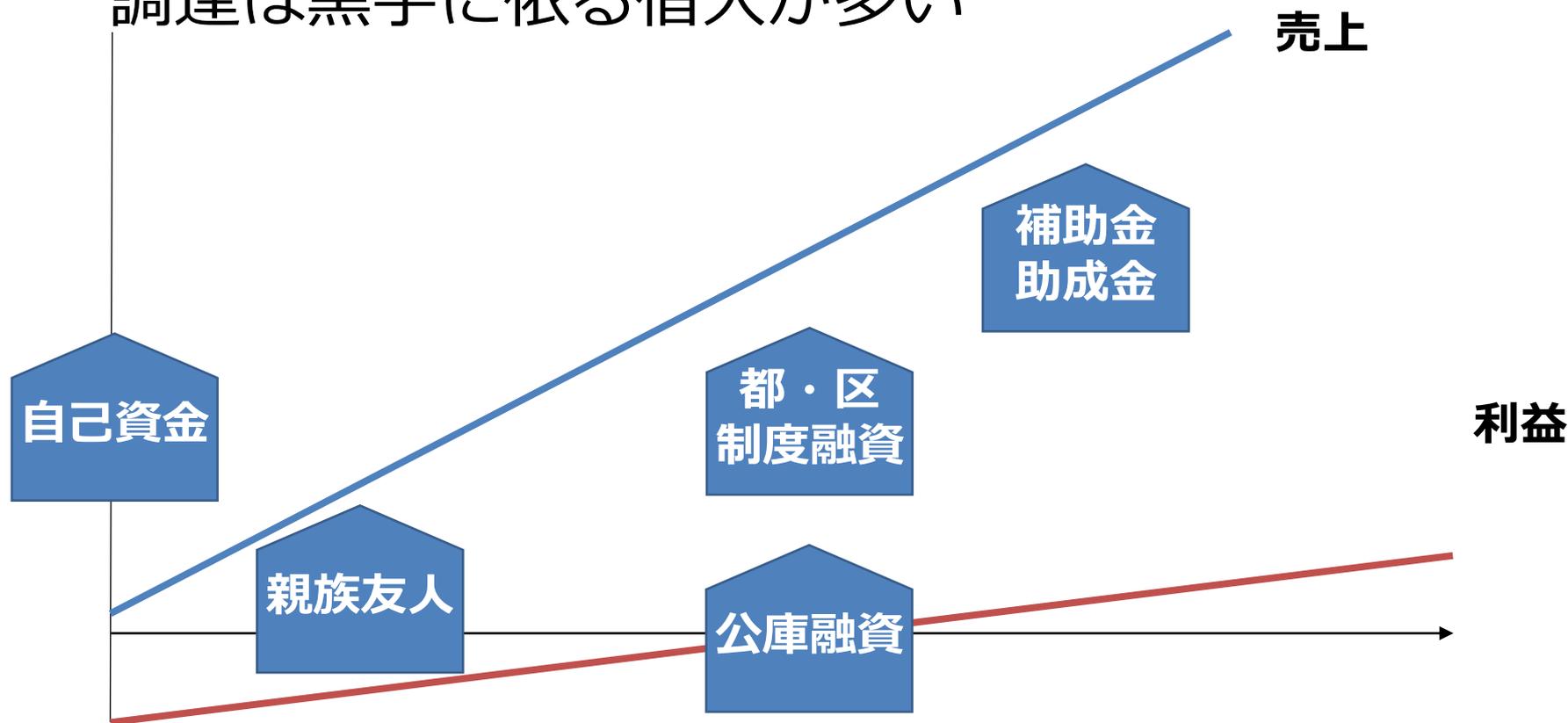
▶ 資金使途や信用リスクで使い分ける

	エクイティ	デット
形態	株式発行	借入
出し手/リスク	投資家/ハイリスク	金融機関/ローリスク
資金使途	事業開発資金 マーケティング資金	運転資金、設備資金
出し手の利益	株価上昇	利息その他取引
出し手の調査	デューデリジエンス：大変 将来の成長性、IPOの蓋然性	融資審査：楽ではない 過去の業績、財務内容
EXIT	IPOまたはM&A	返済
資本構成/支配権	既存株主は希薄化	不変
資本コスト	大きい：10%以上	小さい：2%程度



スモールビジネスの調達イメージ

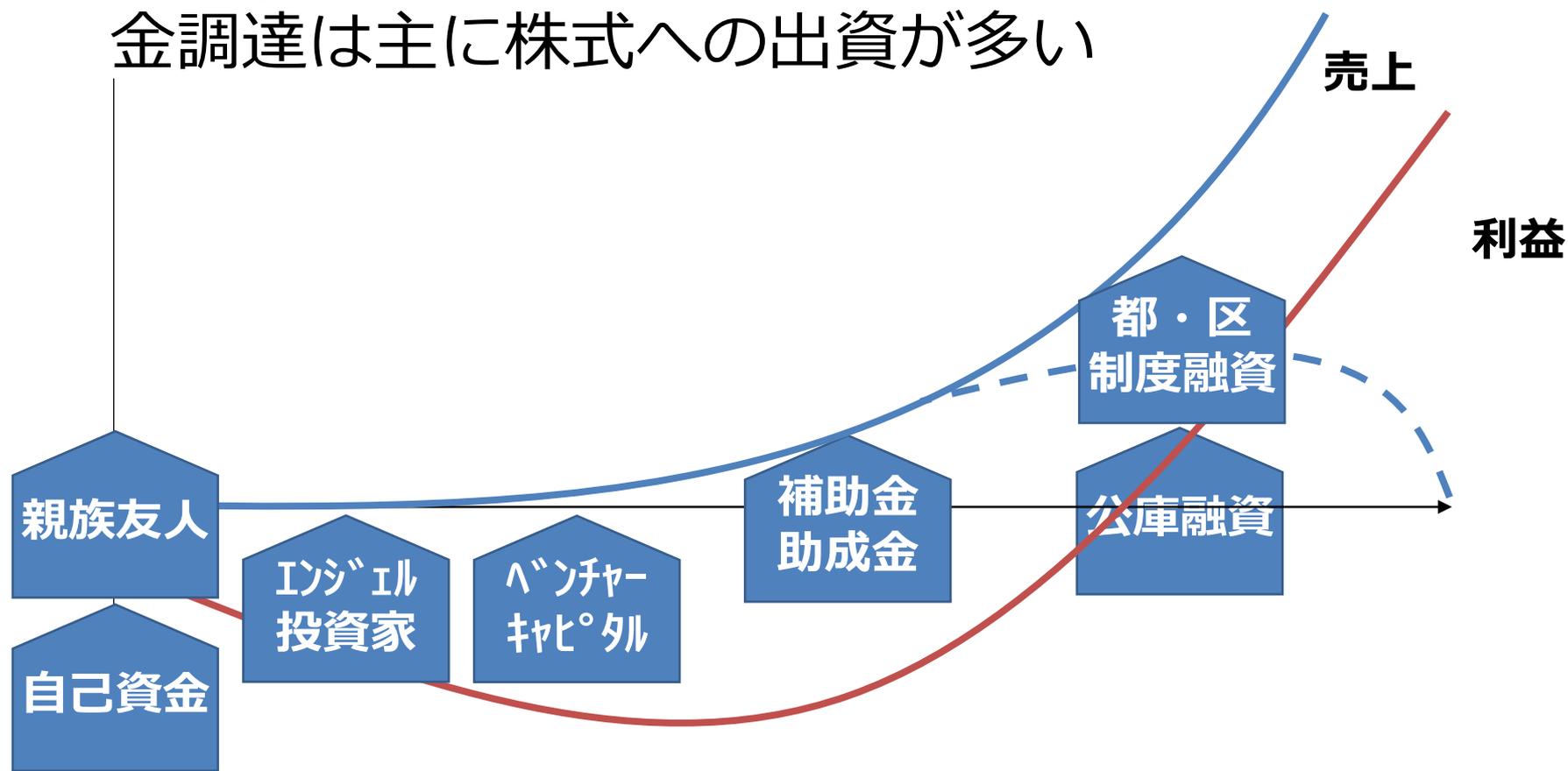
▶ 成長率は一定範囲内であることが多く、資金調達は黒字に依る借入が多い





スタートアップの調達イメージ

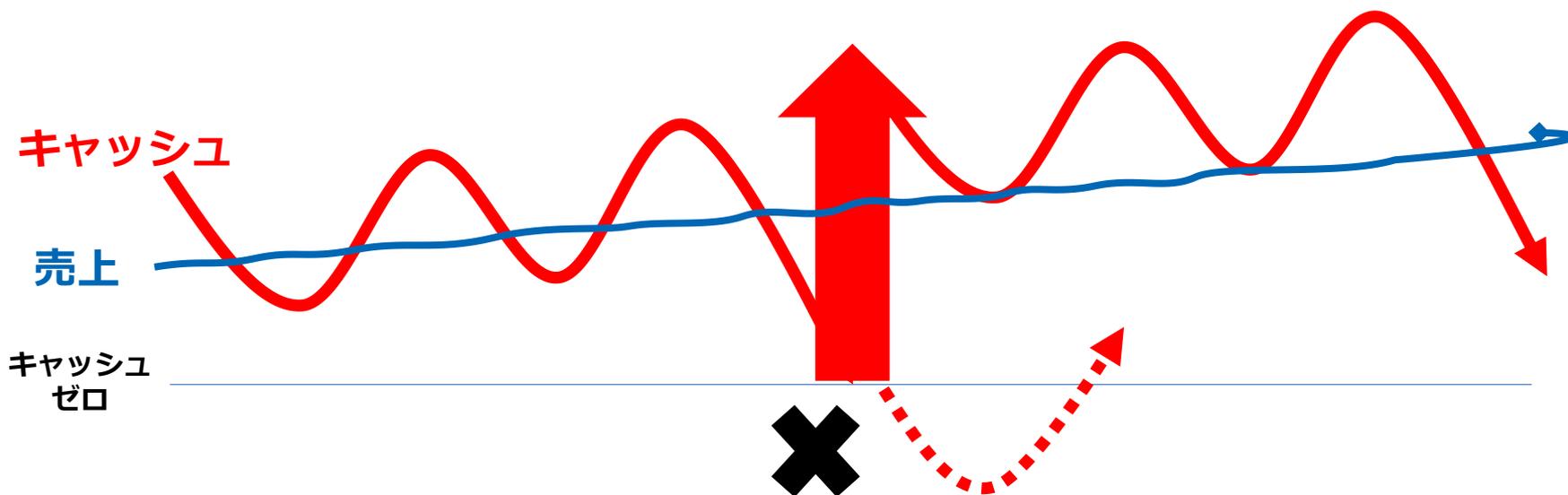
▶急成長を実現する企業は少数であるため、資金調達は主に株式への出資が多い





スモールビジネスの資金繰り

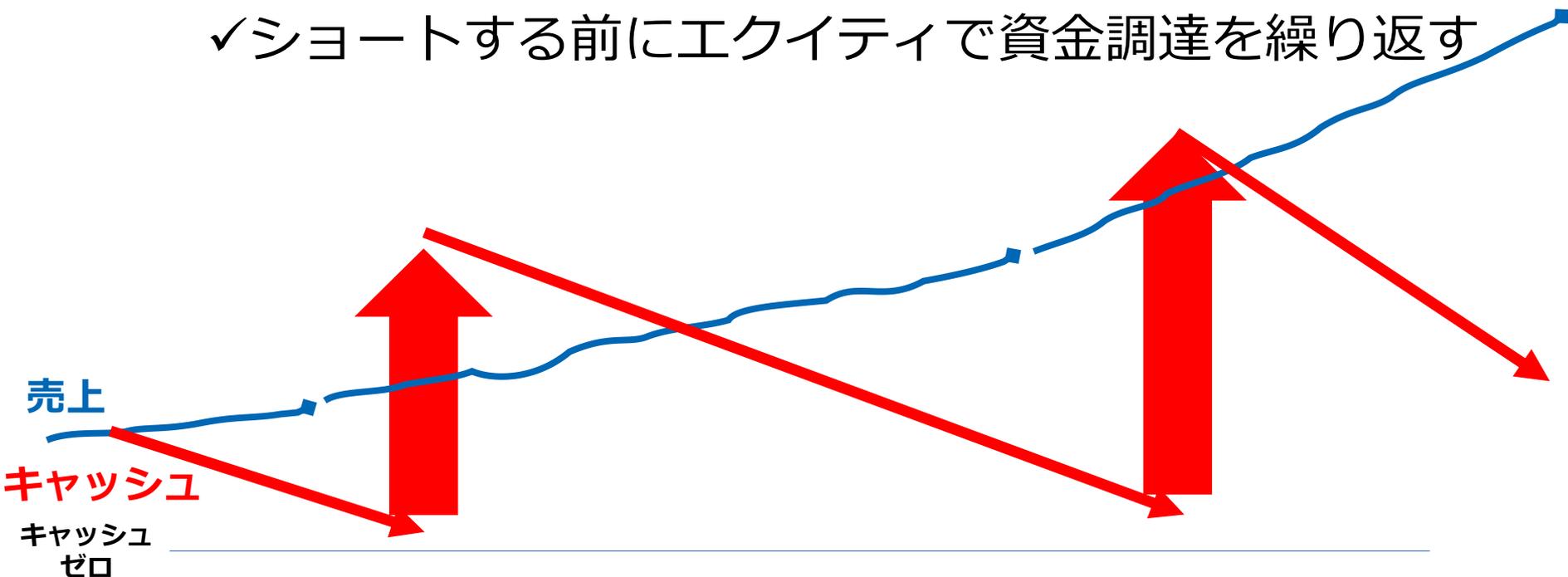
- ▶ 波打つキャッシュ残高がゼロにならないよう
キャッシュポジションを上げる
 - ✓ 運転資金を調達するのは、赤字や所要資金が増える
タイミング





スタートアップの資金繰り

- 売上がなくても、赤字でも費用をかけるので、キャッシュは減り続ける
 - ✓ ショートする前にエクイティで資金調達を繰り返す

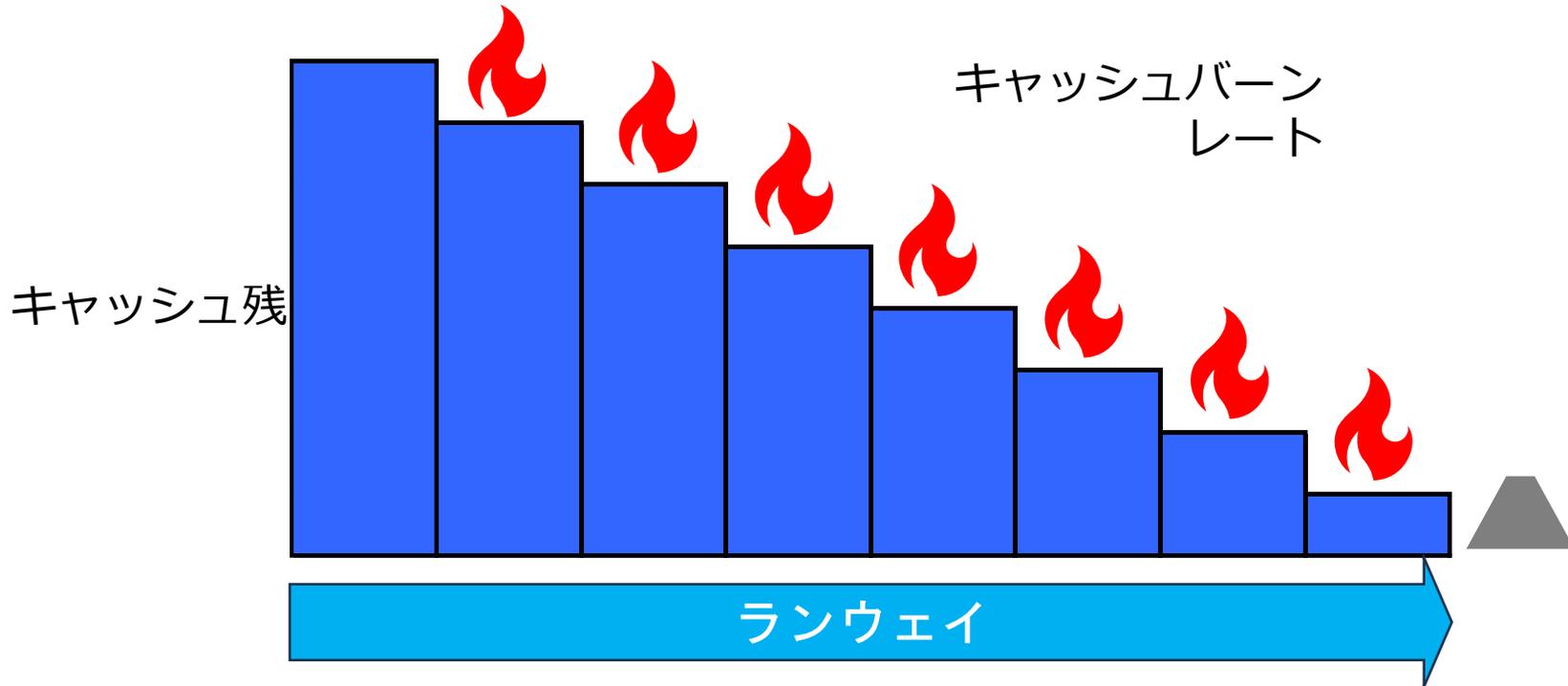




キャッシュバースとランウェイ

▶ スモールビジネスとの大きな違い

- ✓ カネが尽きる前に、次のエクイティファイナンスができるよう事業進捗させるレース





スタートアップのキャッシュマネジメント

- 開発に資金投下し事業進捗早めるか、ランウェイを伸ばすか、いつファイナンスするか

キャッシュ

